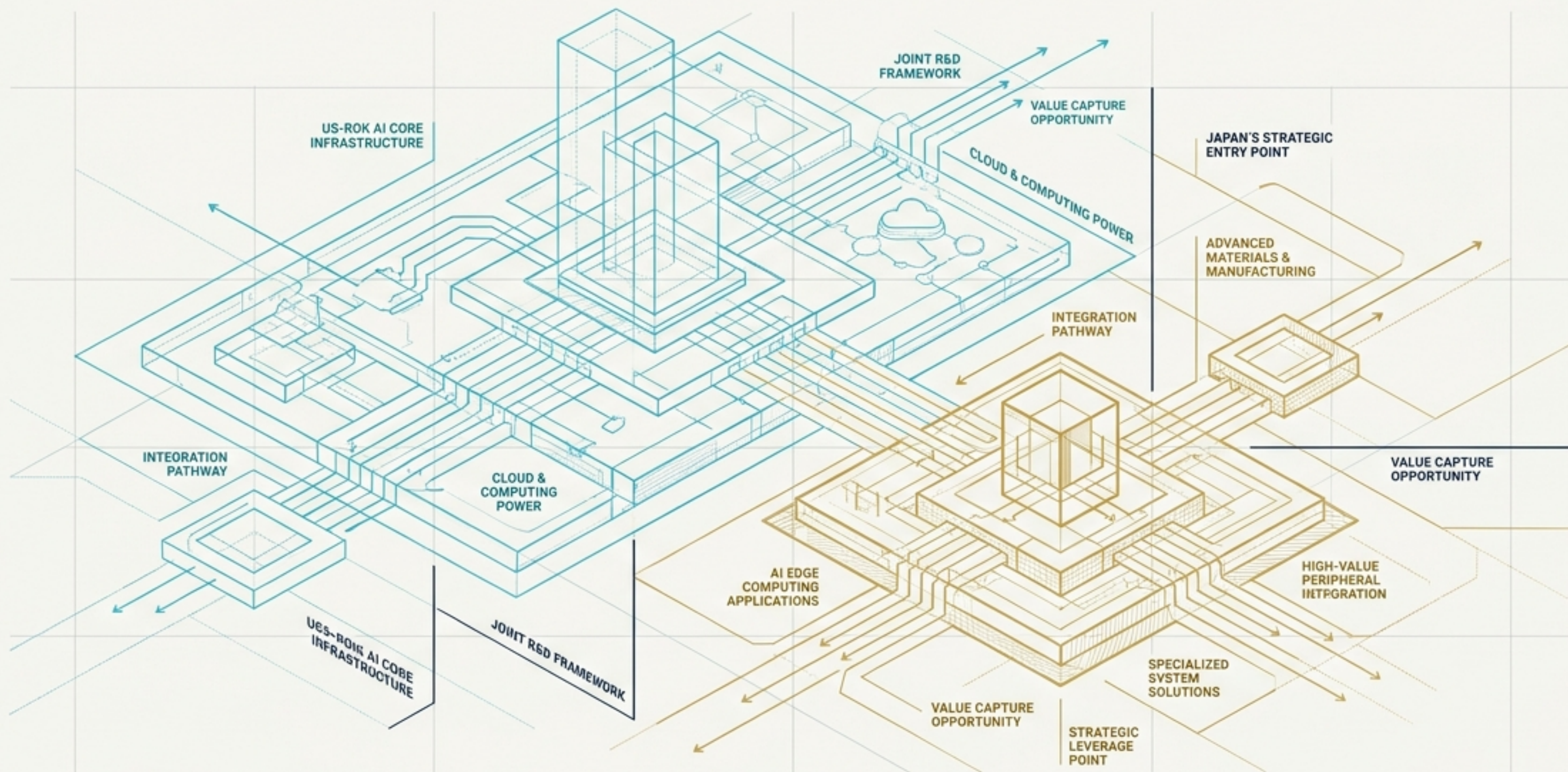


米韓AI投資構想と日本企業への含意

新たな東アジア産業アーキテクチャの全貌と、日本の「周辺高付加価値層」獲得戦略



米韓による最大9500億ドル規模のAI投資が、東アジアの産業構造を再定義する



事象の核心 (The Paradigm Shift)

2026年7月のサンフランシスコ AIサミットを機に、韓国は単なる「メモリ供給国」から、米ビッグテックと連携する「AIエコシステム大国」へ昇格。

民間中心の長期供給契約を軸に、約7100億ドル～9500億ドルの巨額資本が投下される。



日本への含意 (Strategic Impact)

汎用半導体や単体クラウドには相対的「**逆風**」。

一方、日本の強みである半導体材料（シェア50%）、製造装置（シェア33%）、電力制御、エッジセンサーには「**追い風**」。



生存への戦略 (The Imperative)

「半導体単体の競争」から「**フルスタック競争（モデル・インフラ・人材・規制）**」への移行。

高付加価値な周辺領域での「設計権・規格権・継続収益」の確保が急務。

2026年6月～7月：計算資本とインフラを統合せする「米韓AI同盟」の急速な形成

2026-06-07

[SKT-NVIDIA] ギガワット級AIクラウド計画発表
[NVIDIA-SK hynix] 次世代AIメモリ複数年提携

2026-07-23

[NVIDIA-KAIST] 3億ドルの共同研究・人材育成枠組み

2026-07-25

[Samsung-Broadcom] 2000億ドル超の半導体協力

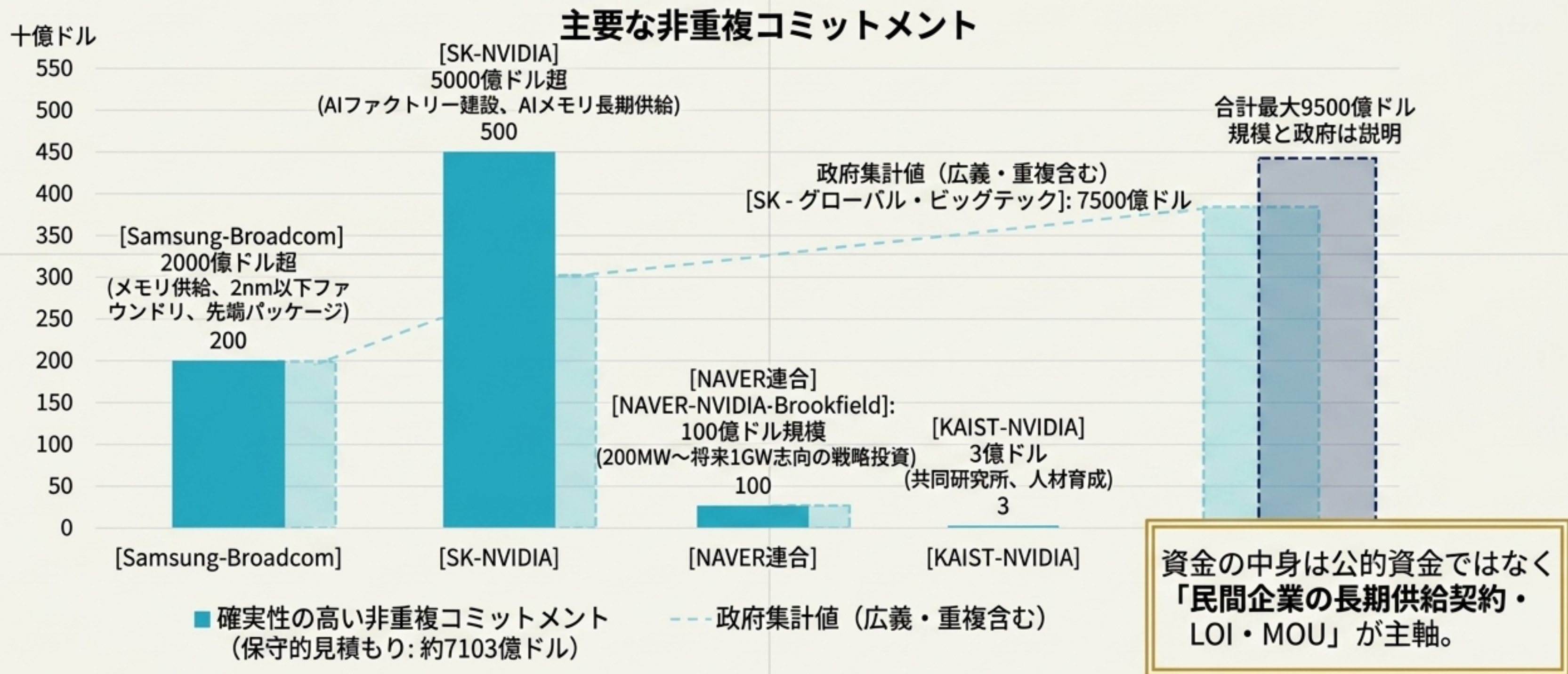
2026-06-29

[韓国政府] 550兆ウォン規模の「3大メガプロジェクト」公表

2026-07-24 (San Francisco AI Summit)

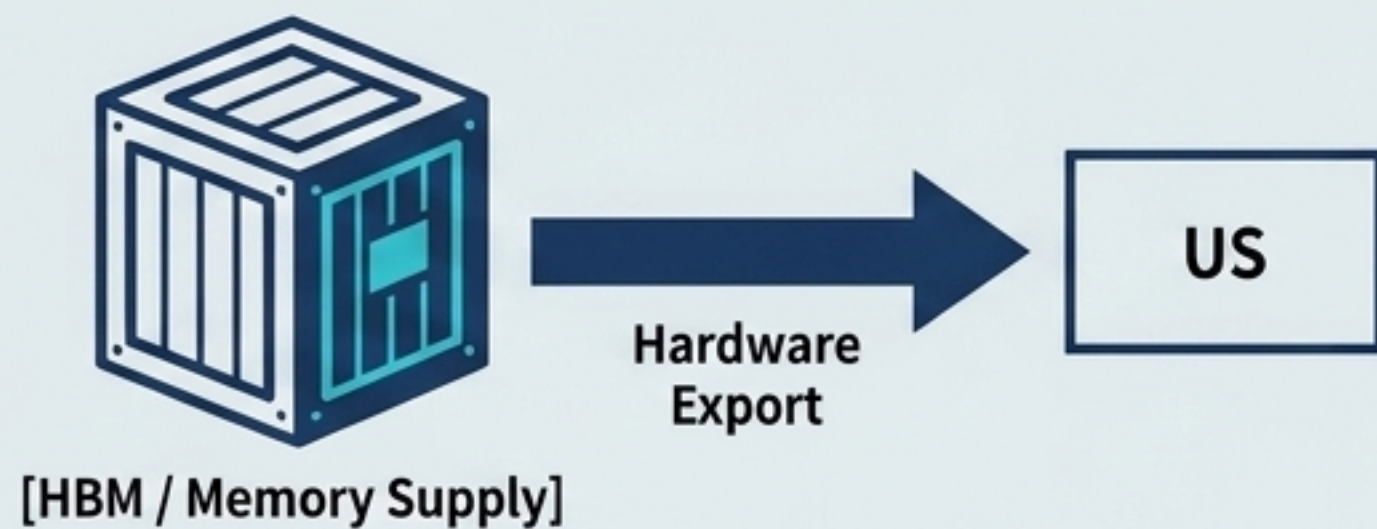
[SK Group-NVIDIA] 5000億ドル超の包括提携
[NAVER-NVIDIA-Brookfield] 100億ドル規模の世宗GAKデータセンター拡張

投資規模の解剖：非重複ベースで「最低7100億ドル」に 上る民間始主導の資本投下

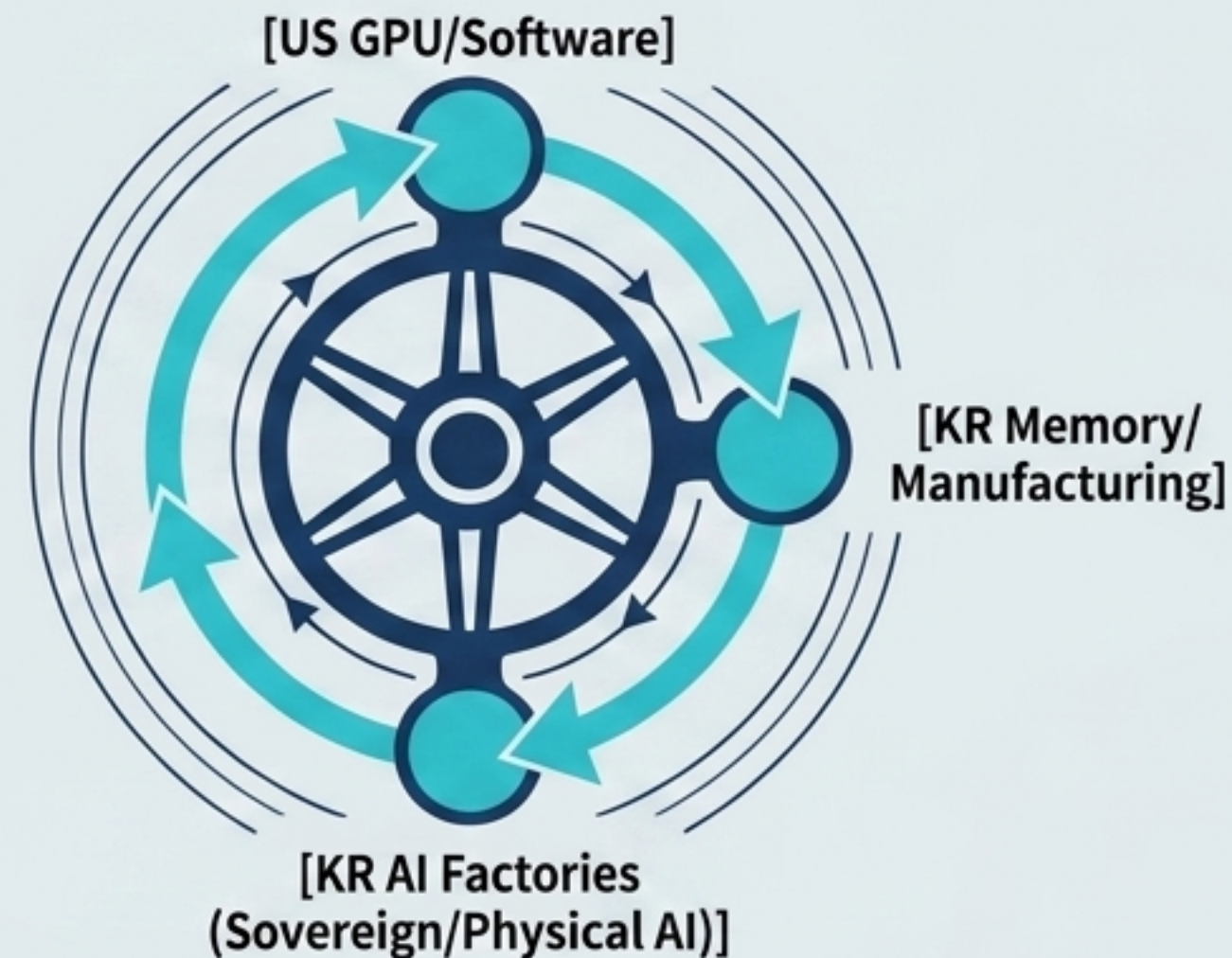


アーキテクチャの転換：韓国は「メモリ輸出大国」から「AIエコシステム大国」へ

BEFORE: MEMORY EXPORT NATION



AFTER: AI ECOSYSTEM POWER



CSISの指摘

韓国が単なるハードウェア輸出大国から「エコシステム・パワー」へ移行できるかがAI産業時代の核心。

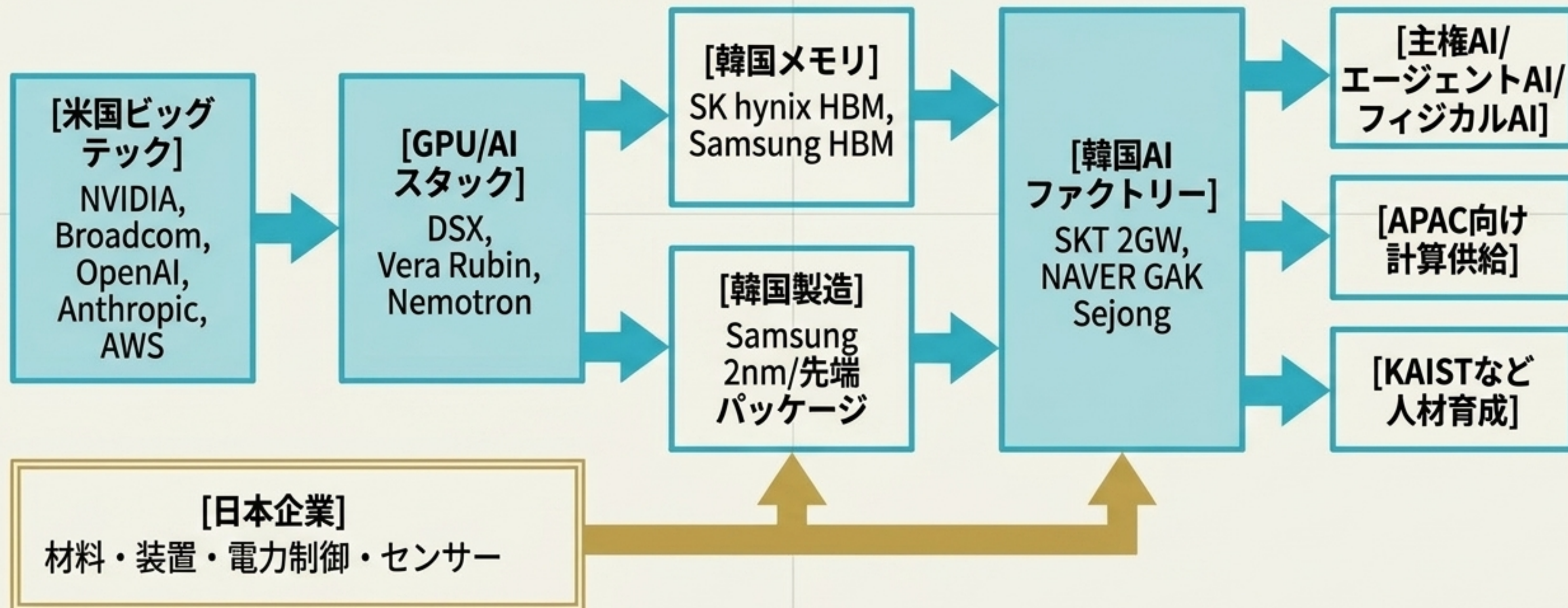
脅威の射程

Samsung・SKがGPUサプライチェーンの上流を担うだけでなく、AIファクトリー運営、主権AI、フィジカルAI、人材育成までを自国に取り込み始めている。

結論

これは単なる半導体の受注競争ではなく、新しい東アジアのAI基盤独占に向けた動きである。

新たな「米韓AIバリューチェーン」と、日本企業の 戦略的プラグイン領域



戦略的含意 ①ハードウェア：コア計算資本の「逆風」と周辺高付加価値層の「追い風」



逆風 (Headwinds - コアの寡占化)

- HBMとAIファクトリーの主導権が「米GPU＋韓国メモリ/製造」へ一段と集中。
- 日本の汎用半導体メーカーや、単体のクラウド事業者にとっては相対的な地位低下リスク。



追い風 (Tailwinds - 周辺領域での需要爆発)

- 韓国の大型案件（HBM・先端パッケージ・巨大データセンター）が増えるほど、**日本サプライヤーの需要が直結して拡大する構造。**
- **圧倒的シェア**: 半導体材料（世界シェア約50%）、製造装置（約33%）※RIETIデータ
- **特定高付加価値層**: データセンター用電力制御、冷却システム、測定機器、エッジAIセンサー、精密ロボティクス部材。

戦略的含意 ②ソフトウェア：激化するアジア域内の「クラウド・主権AI」覇権争い



The Korean Threat (韓国勢のアジア展開)

Tech Cyan

NAVER (世宗を核とした主権AI拡張)

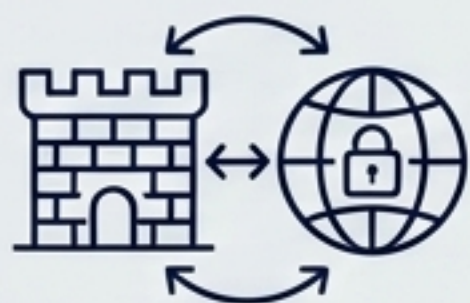
韓国政府の約5GW
AIデータセンター構想

Tech Cyan

SKT (NVIDIA Cloud Partner)

Tech Cyan

「ローカル言語・規制対応・低遅延・データ主権」を武器に、アジア案件へ攻勢をかける条件が整う。



The Japanese Countermeasure (日本の対抗軸)

官民連携インフラ

経済産業省支援の「FRONTia」、デジタル庁のガバメントAI「源内」、AI法・AI基本計画の実装。

企業プラットフォーム

SoftBankの「AI Data Center GPU Cloud」、Fujitsuの主権プラットフォーム志向。

日本はこれらをより早く接続・実装し、国内及びアジア市場での防衛線を張る必要がある。

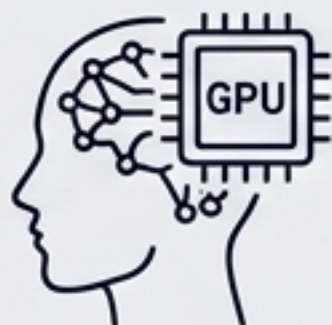
戦略的含意 ③地政学と人材：フルスタック輸出政策と、不可避のコンプライアンス



米国の「フルスタックAI輸出」国策化

2025年大統領令「**American AI Exports Program**」を通じた金融・外交支援。

CSIS指摘：日本や韓国など同盟国の「**輸出管理能力**」が米国戦略の成否を握る。**対中規制**や米国スタック準拠を無視する企業は、**米韓主導エコシステム**から排除されるリスク。



人材確保のパッケージ化

NVIDIA-KAISTの3億ドル投資に見られる、研究費・計算資源（**GPUアクセス**）・インターン・採用パスの一体化。

韓国語・韓国用途に特化したAIエージェント開発体制の確立。



日本の課題

トップ研究者を引き留めるための**給与体系**、**移民・ビザ政策**、**大学-企業の回転ドア**、および**潤沢なGPUアクセス**の提供に改善余地あり。

日本企業へのインパクトとシナリオ分析 (1/2) : ハードウェア・フィジカルAI領域

企業名	事業ポジション	ベストケース	蓋然性の高いケース	ワーストケース
Sony	エッジAIセンサー	AIファクトリー向け産業/ロボット用ビジョン需要拡大で受注増。	日本国内・アジアのFA向けで堅調成長。	韓米が画像理解まで内製化し、センサーがコモディティ化。
Toshiba	データセンター電源向けSiC技術	AIDC電源・SiC関連で追い風。	電力・冷却周辺で需要拡大も大型案件は限定的。	韓中の価格競争で利益率圧迫。
Renesas	車載・エッジAI SoC	車載/産業エッジAIで「推論の現場側」を取り込む。	自動車・産機向けAI SoC需要増。	コア計算資本が米韓に集中し、相対的評価低下。
Toyota	Woven / ロボティクス・モビリティAI	日本の物理AI需要を牽引しデファクト化。	内製とパートナー活用のハイブリッド展開。	基盤モデル・GPU・ロボット基盤が米韓規格に従属。

日本企業へのインパクトとシナリオ分析 (2/2): クラウド・エンタープライズAI領域

企業名	事業ポジション	ベストケース	蓋然性の高いケース	ワーストケース
SoftBank	国内GPUクラウド	国内GPUクラウドの先行優位を確立。	日本市場では有力だが海外展開は選別的。	米韓仏などの巨大案件に対し設備規模で劣後。
Fujitsu	主権AI・エンタープライズAI基盤	主権AI・生成AI基盤・物理AI統合で官民案件を獲得。	国内大企業のAI実装需要を安定獲得。	インフラ不足で外資クラウド依存が進み差別化困難。
NEC	政府・防衛・インフラ向けAI	政府・防衛・重要インフラの安全AIで優位。	公共・企業向けの堅実成長。	韓国勢の主権AIパッケージに価格で押される。

戦略的対応プレイブック：リスクを機会に変える「官民の要請事項」

Strategic Risks	Corporate Imperatives	Government Policy Imperatives
HBM・GPU集中	長期調達契約、マルチソース化、社内設計の軽量化。	共同調達支援、国内計算資源の優先配分。
韓国主権AIクラウドの台頭	日本語・業界特化AI、高い信頼性と規制準拠での差別化。	AI法運用の予見可能性確保、公共調達での国産基盤採用。
フィジカルAI競争	センサー、ロボット、デジタルツインを束ねた統合提案。	FRONTia・ロボット実証・産業データ共有の加速。
電力・立地制約 / 人材流出	電力効率の高い設計、AI-RAN/分散DC活用、研究者待遇改善。	系統接続の迅速化、ビザ緩和・GPU付き研究拠点整備。
輸出管理・地政学	米国スタック準拠と対中規制のコンプライアンス強化。	日米韓での輸出管理・供給網対話の制度化。

結論 (The Endgame) : 新しい東アジア・アーキテクチャでの生存条件



米韓AI構想は、単なる大型受注の機会ではない。AIの「計算資本」「メモリ」「AIファクトリー」「主権AI」「人材」を束ねる、新たな東アジアの産業アーキテクチャの創生である。

日本にとっての正解は、これを単なる「脅威」として忌避することではない。自国の圧倒的な強み（材料・装置・センサー・電力制御・ロボティクス）を正確に特定し、米韓主導のフルスタックの「どこで設計権・規格権・継続収益を確保するか」を最速で決定し、接続することに尽きる。

最良のシナリオは「巨大な韓国案件を、日本の高付加価値層へ接続する」ことである。